



なすびの花

2024年度社長方針

イーエルの、2024年度が始まりました。今年度の社長方針は、次の通りです。

・ビジョン

全てのお客様に高品質な電子機器の製造サービスを提供する会社へ

・KGI (Key Goal Indicator) 重要目標達成指標

中期目標的な指標: ビジョン達成のための数値目標

・KPI (Key Performance Indicator) 重要業績評価指標 ※各部署に社長より詳細指示有り

中間的な目標: 各部署でのISOの目標設定に、右のKGIとKPIを考慮する

そして、わが社の未来の展望を、次のように示されています。

・EMS 電子機器製品受託サービス

イーエルは、「モノ(製造物)を売るんじゃない! 製造と言うサービス」工場を売るんだ!

社長方針を受けて、9月初旬には、各部署が当年度の品質環境目標を発表します。

9月に入り、各部署内で、掲示したり、朝礼で伝えたりしていることと思います。

直接売り上げに影響している営業や開発、製造、業務、そして屋台骨と言われる間接部門は特に、自分たちが、会社のKGIやKPIの達成に

向けて、何をどうやれば、貢献できるのか、しっかり考える必要があります。

社長方針の発表後には、毎年、部署長があれこれと思い描きながら、社長方針に沿う形で、自部署の目標を考えます。

今年度も、目標達成のための、課員の具体的な行動も示されます。

私たち従業員一人一人は、製品や業務の品質や生産性を維持向上するために、日々の作業を慎重に、丁寧に、効率的に行っていくことが、大切です。

そして今年度も、全員が明るく元気に働ける職場を目指して頑張りましょう!

スイスチーズモデル

先月、ヒューマンエラーについて調べている時に、「スイスチーズモデル」という言葉を見つけました。

某アニメに出てくるような、穴がポコポコ開いているチーズは、スイスで作られているエメンタールというチーズが有名です。

「スイスチーズモデル」は、トランプは単独で発生するのではなく、複数の事象が重なった時に発生するリスクを表したものです。

不適合対策や、システムエラー対策を、1枚1枚のチーズの防壁になぞらえ、そして、それぞれの防壁には、不完全な部分があり、それをチーズの穴と

考えています。スイスチーズをスライスして重ねた時、穴の位置が全て揃うことは、滅多にありません。

ですが、この穴を全て、すり抜けてしまつと不具合、トランプに至ります。

ヒューマンエラーを防ぐために、設備や治具を準備したり、手順を決めたり、といった防壁を考えます。

1枚のチーズは決して完璧ではありません。穴が開いていることを知らなかったり、チーズの枚数が足りなかったりという可能性もあります。

あらゆる可能性に目を向けて、1枚目のチーズの穴をすり抜けても、2枚目のチーズで食い止めることができるように、チーズを重ねていくことが大切です。

トランプがない日々が続くと、どうしても鈍感になってしまいますが、トランプを誘発する要因は、日常的にいくつも潜んでいます。

管理者は、毎日の業務の中で、アンテナを張り、事象を違う角度からも見る目を養いましょう。

ISO9001・14001 維持審査のご報告

7月30日と31日のISO外部監査は、指摘事項はなく、認証が確定しています。

ISO事務局と他一部のシステムに修正する箇所があり、特に『マネジメントレビュー』の項で、事務局で認識が違っていた箇所がありました。

こちらについては、急いで問題解決に向かいます。

他の修正箇所も順次対応して参ります。